

## ウミガメ保護監視業務の報告

### ①業務の内容

屋久島町では、本町の豊かな自然環境を構成する貴重な野生動物であり、学術的、文化的価値観有するウミガメの保護を図り、資産として継承していくため、鹿児島県ウミガメ保護条例の趣旨に基づき、鹿児島県から権限移譲を受け、ウミガメ保護監視業務を実施している。

具体的な活動としては、5月中旬からの産卵シーズンに合わせて、産卵地域である町内の砂浜において、ウミガメ保護監視業務員（団体）を配置し、産卵に訪れたウミガメが人為的な悪影響を受けないように、鹿児島県ウミガメ保護監視実施要領に基づき、見学者に対する観察ルール の周知やモニタリング調査等を行っている。

平成 27 年度は 7 か所の砂浜にウミガメ保護監視業務員を配置した。

### ②実施結果

地 区	上陸数	産卵数	見学者数	実施期間	うち実施日数	実 施 団 体
サゴシ浜	18 頭	14 頭	2 人	5 月 20 日 ～6 月 14 日	26 日	鳴瀬グループ 8 名
栗生浜	45 頭	32 頭	1,680 人	5 月 20 日 ～8 月 19 日	91 日	鳴瀬グループ 9 名
中間浜	43 頭	19 頭	39 人	5 月 21 日 ～6 月 28 日	38 日	中間ガジュマル会 4 名
田代浜	29 頭	0 頭	22 人	5 月 24 日 ～9 月 30 日	31 日	屋久島てくてく 5 名
一湊浜	18 頭	7 頭	7 人	5 月 20 日 ～6 月 28 日	40 日	一湊を語る会 27 名
いなか浜	447 頭	218 頭	1,788 人	6 月 1 日 ～9 月 29 日	91 日	永田区 20 名
前浜	299 頭	158 頭	1,139 人	5 月 20 日 ～8 月 5 日	70 日	NPO 法人屋久島うみがめ館 18 名
合計	899 頭	448 頭	4,677 人			

※契約期間 5 月 20 日～9 月 30 日

### ③効果

監視員を配置することによって、ウミガメ観察に訪れる観光客に対し、観察マナーの指導を行うことができ、ウミガメが産卵する際の環境づくりができた。

シーズンを通して、上陸頭数のモニタリングを行うことができ、漂着ゴミの状況や台風による地形変化の情報も得られた。

監視業務の期間を例年より 2 か月延長することで 8 月、9 月の上陸頭数を把握するよう努めた。また、子ガメがふ化する時期である 9 月の監視業務を行うことで、マナー違反の観光客に対して指導を行うことができた。

平成 27 年度の保護監視団体は 6 団体であり、昨年以前から保護監視業務を経験している団体であったため、適切な保護監視業務を執行することができた。【委託料：1,098,000 円】

④ウミガメ捕獲等許可状況 6 件

目的	団体	捕獲等の内容
学術研究	NPO 法人屋久島うみがめ館	親ガメ：2 頭
学術研究	東京大学大気海洋研究所	親ガメ：40 頭、ふ化幼体 400 頭、卵：200 個
学術研究	東京大学大気海洋研究所	親ガメ：100 頭
放流会	中間ガジュマル会	ふ化幼体：20 頭
学術研究	NPO 法人屋久島うみがめ館	卵：6 巣程度
放流会	屋久島町立栗生小学校	卵：2 頭分（約 240 個）